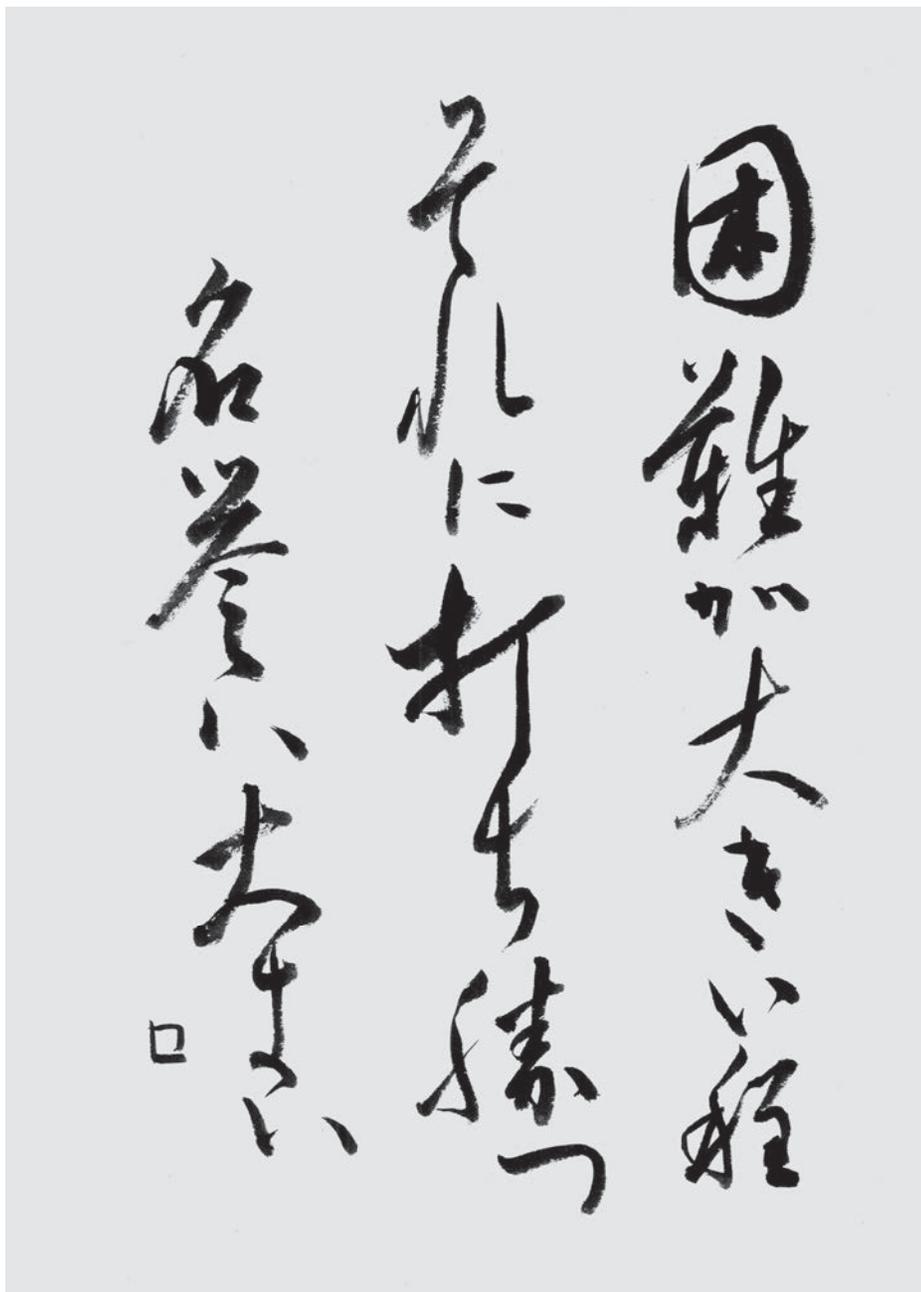


調和体を書く (10)

締切り 十月二十五日 (必着)



奥村憲照先生書

回作品の出し方

- ▼硬筆部 B5判 (二五七mm×一八二mm) 以下の紙に書いて下さい。用具は自由です。(黒色に限る)
- ▼毛筆部 B半紙に書いて下さい。(筆ペン可)
- ▼出品制限の対象とはしませんが、出品は硬毛のどちらか一方に限ります。

- ▼事務処理上、支部略称・氏名・会員番号・硬筆規定の成績(毛筆の場合は毛筆漢字の成績)を、作品余白にお書き下さい。
- ▼優秀作品は、写真版として成績表の後ろに掲載しますが、成績表での順位発表はしません。

◆書道のジャンルには、大別して「漢字」「かな」「漢字かな交じり書」の三つがあります。

◆現代日本の文章表現は全て漢字かな交じり書ですが、ここでは芸術的創作作品を指し、「調和体」「近代詩文」として書展の一部門を占めています。

◆読める書として人気を高めています。が、古典といわれるものがない故に書法はまだ確立しておらず、各団体で新和様・新書芸などのいろいろな呼称で研究が進められています。

◆今回のお手本は、前会長奥村憲照先生が(財)日本書道教育学会に關係していた頃の新和様のお手本です。本誌初登場です。

◆読めてかつ、書格の高い作品を目指して研究してまいります。

〔読み〕

困難加が大きい程それに打ち勝つ
名誉ハは大きい

〔解説〕

①可読性を大切に。

②変体仮名・連綿はなるべく控える。

③構成を工夫してみよう。

※落款(署名・捺印)は、作品の一部としてバランスよく収めて下さい。

※印のない方は赤ペンで□を書き入れて下さい。

準初段から六段まで

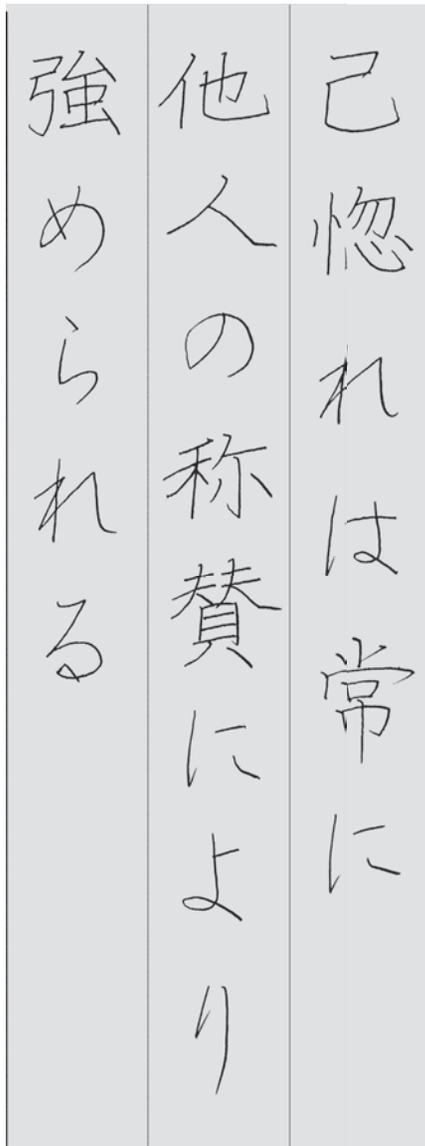
新入から1級まで

〔解説〕



◎今月は楷書。楷書は特に基本となる線または点画を学び、スピードや庄のかけ方も大切な要素です。繰り返し練習して自分なりの感覚をつかみましょう。

▶教範・書範は右課題を「行草または草書」で、師範は「行書」で出書して下さい。



おか だ りゅう ほう 書
岡 田 龍 芳 書

▷用具=自由(黒色に限る)

▷用紙=本会段位用紙

〔解説〕



おお たに せい じょう 書
大 谷 清 城 書

▷用具=自由(黒色に限る)

▷用紙=本会級位用紙

◆11月課題予告(行草または草書)
教育とは
死に至らない失敗を
安全に経験させる事
▼教範・書範⇋行書
▼師範⇋楷書

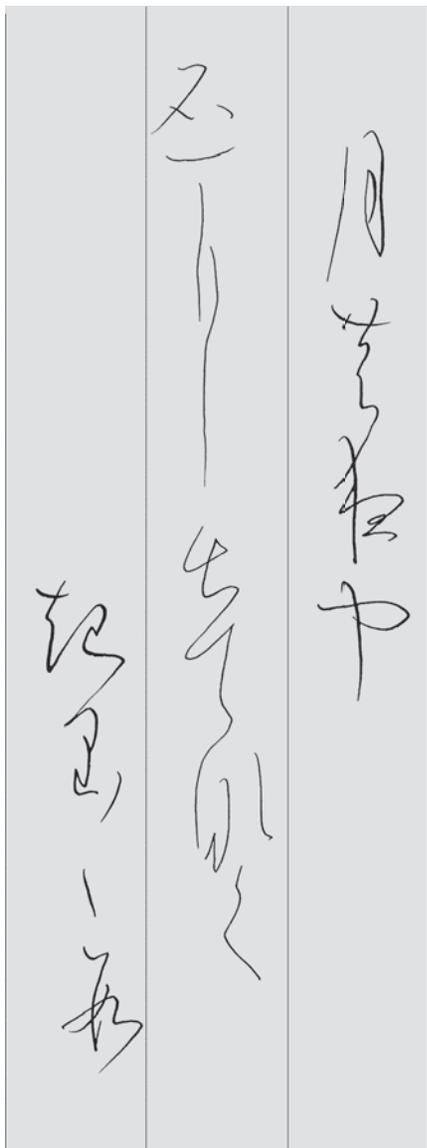
★己惚れ：(書体⇋楷書)
S・ツバイク(二六〇〜二九四)
オーストリアの作家・評論家
己惚れは、他との比較によって始まるものだが、それをさらに強めるのは他人の言葉である。称賛されれば気分は良いし、その気になってしまふものです。そのあたりの計算をしないで鼻を高くしていると、足元をすくわれま

◆11月課題予告(楷書)
健康で
正しい人間ほど
人間を無情にする

★自分を：(書体⇋行書)
志賀直哉(二八三〜一九七)
大正・昭和期の小説家
自分を熱愛し、自分を大切にせよということとは、自分だけよければよいということの意味するものではありません。転機にたち、これからの方針を定める時、自分自身の良心や信義、理想というものを大切にしなければ道を誤ることになるでしょう。

準初段から六段まで

新入から1級まで

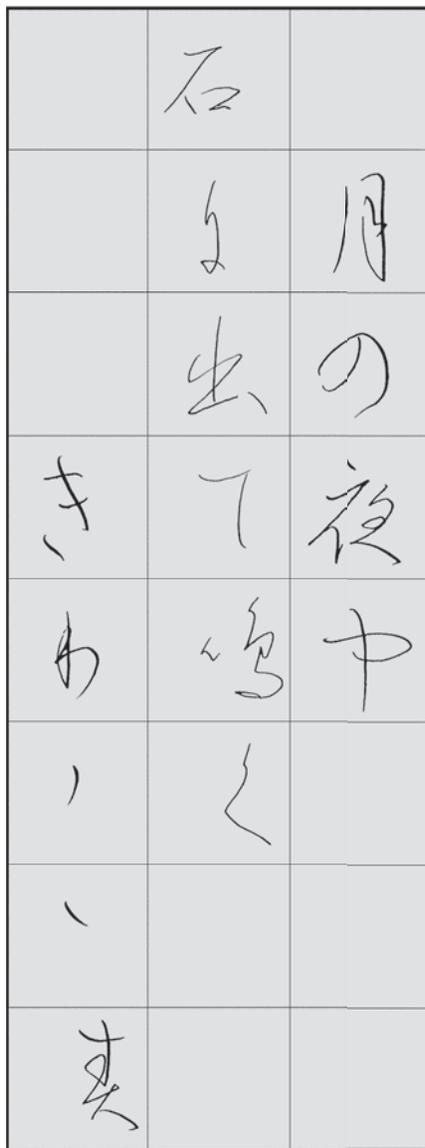


月の夜や石に出て鳴くきりぎりす

田中貴光書

▷用具=自由(黒色に限る)

▷用紙=本会段位用紙



月の夜や石に出て鳴くきりぎりす

■両課題とも、文字の変換・配字は自由です。

田中貴光書

▷用具=自由(黒色に限る)

▷用紙=本会級位用紙

月の夜や石に出て鳴くきりぎりす

(千代女)

〔句解〕すべてのものが澄みきった月の光に照らされている。庭石の上も、昼とは違って透明なまでに清浄に見える。その上にこおろぎが登って鳴いている。

〔鑑賞〕きりぎりすはこおろぎの古称。深まりゆく秋の夜、石上で一匹のこおろぎが、月と対話している。はかない生命のこおろぎが永遠を思わせる月に向かつて、何かを語りかけ鳴いている。

〔古筆参考〕

夜よ 石上 一匹のこおろぎが、月と対話している。はかない生命のこおろぎが永遠を思わせる月に向かつて、何かを語りかけ鳴いている。

〔解説〕「わ」は少し小さめに書き、「ア」は「連」点線のところを中心に書く。

◆11月課題予告

柳ちり清水かれ石とこころごと

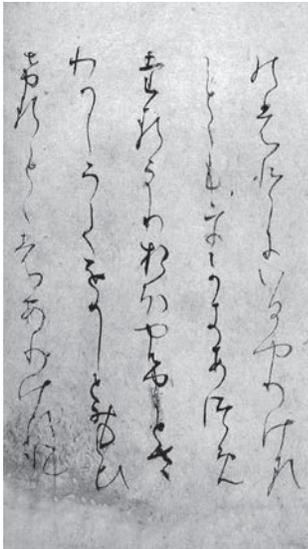
(与謝蕪村)

締切り 十月二十五日(必着)

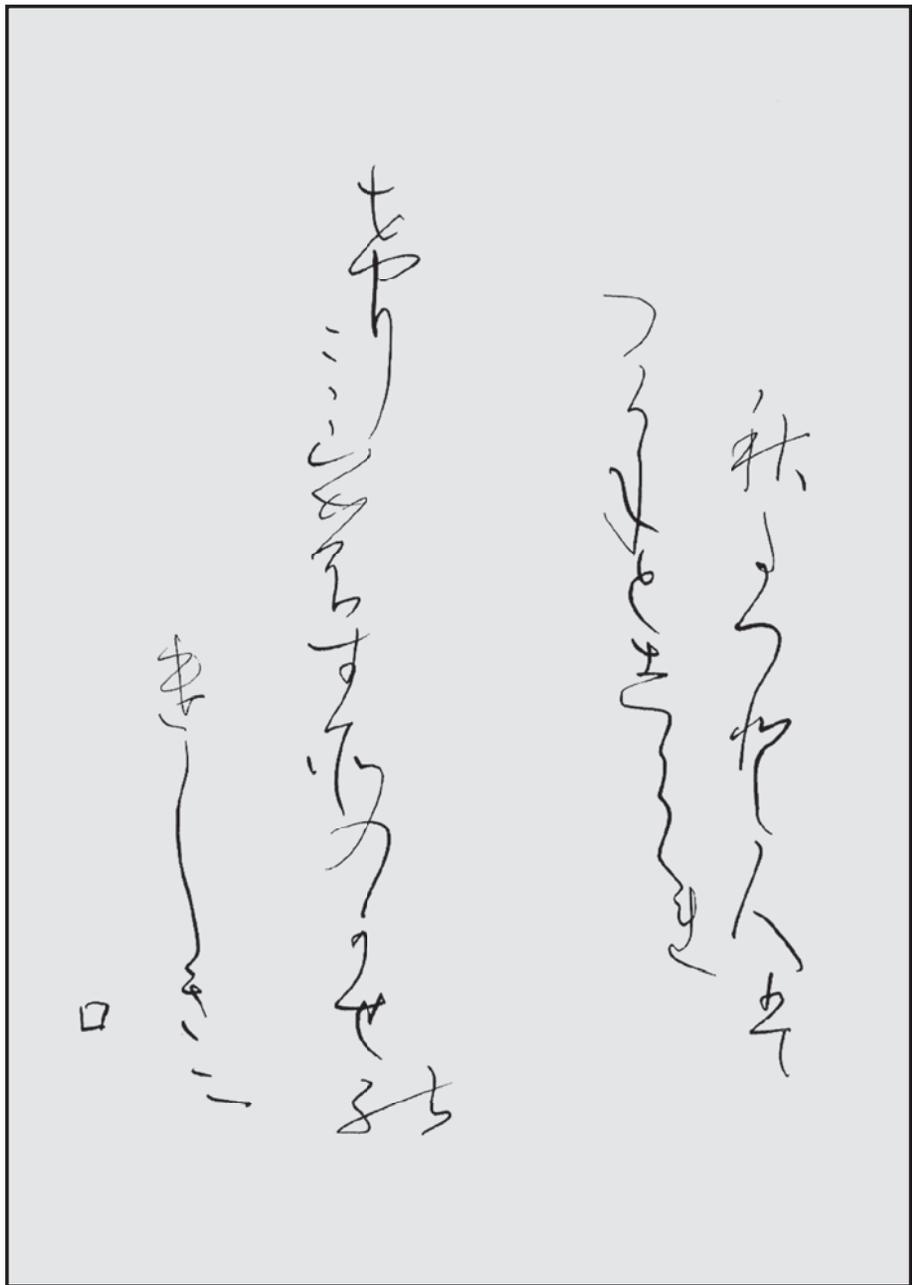
築瀬舟香書

〔古筆参考〕

いちじょうせつしやうしゆう
一条撰政集



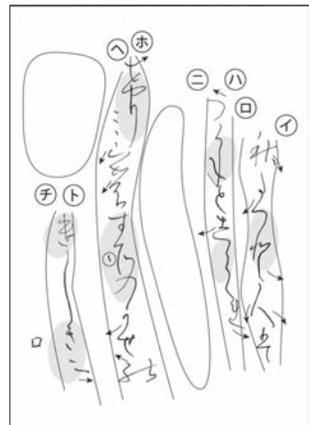
能登登尔日利類
のもとにいひやりける
ことどもをかきあつめ
堂類奈利於本希
たるなり、おほやけごさ
わがしうて、をかしとおもひ
けることどもありけれど



秋立つと人は告げねど知られけり
み山のすその風のけしきに

〔歌意〕秋になったと告げる人は誰も
いないが、み山の裾を吹く風の様子に
より、立秋をおのずと知ることである。
〔出典〕山家集(新潮日本古典集成)

〔解説〕



- ①と㊦、①と㊧、①と㊨、①と㊩、①と㊪、それぞれ呼応。
- 余白大切。
- 行の中の密、↙指向性、○の位置大切。

◆11月課題予告
雲雀あがる大野の茅原夏来れば
涼む木蔭をたづねてぞ行く

締切り 10月25日(必着)

当団地の秋祭りのバザー用にと
不用品を出すことに。押し入れを
探すと、改めて溢れる物の多さに
ビックリ。予定外の「断捨離」にも
なつて家中スッキリ。古いアルバム
にはひと盛り上がりしましたよ。

作品の出し方

- 新入から師範まで、どなたでも出書できます。成績は評価により毎月変わります。
- 用紙はがき課題ははがき用紙、横書き課題は一般部段位用紙を横に使用。
- 用具はがき、横書き課題ともに自由。
(黒色に限る)
- 両課題とも、書体変換は自由です。

※手本は水性ボールペン使用

当団地の秋祭りのバザー用にと
不用品を出すことに。押し入れを
探すと、改めて溢れる物の多さに
ビックリ。予定外の「断捨離」にも
なつて家中スッキリ。古いアルバム
にはひと盛り上がりしましたよ。

横 書 き 課 題

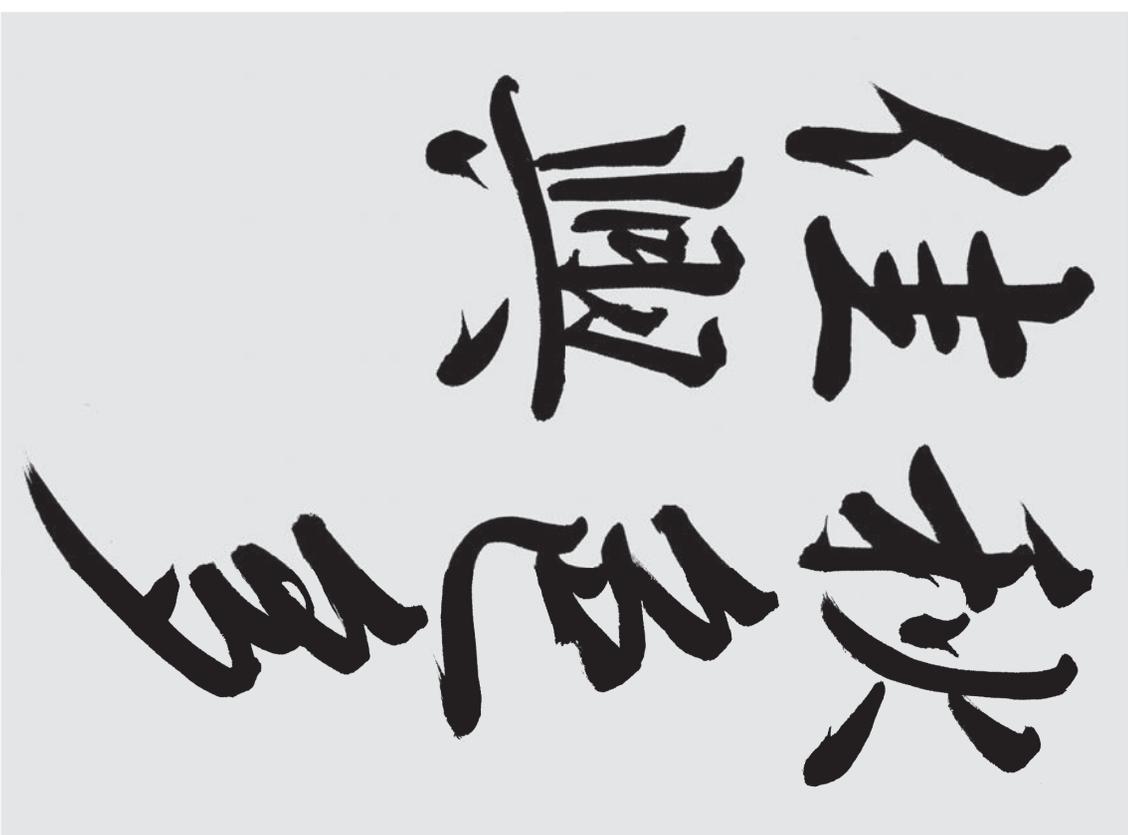
柿の歴史は古く、1300年以上も
前に栽培されていた記録がある。

和歌山県岩出市 氏 名

※手本はつけペン使用。 ★三行目は、指定の地名と氏名を書いて下さい。

一般部毛筆漢字課題

締切り 10月25日(必着)



準初段から師範まで

新入から1級まで(行書)

奥村暢之臨

須田一葉書

庭充宛 葉街填

〔出典〕孔子廟堂碑(626~633) 〔筆者〕虞世南(558~638)

〔読み〕孔子廟堂碑(626~633) 〔筆者〕虞世南(558~638)

〔読み〕孔子廟堂碑(626~633) 〔筆者〕虞世南(558~638)

〔読み〕秋色佳興多し

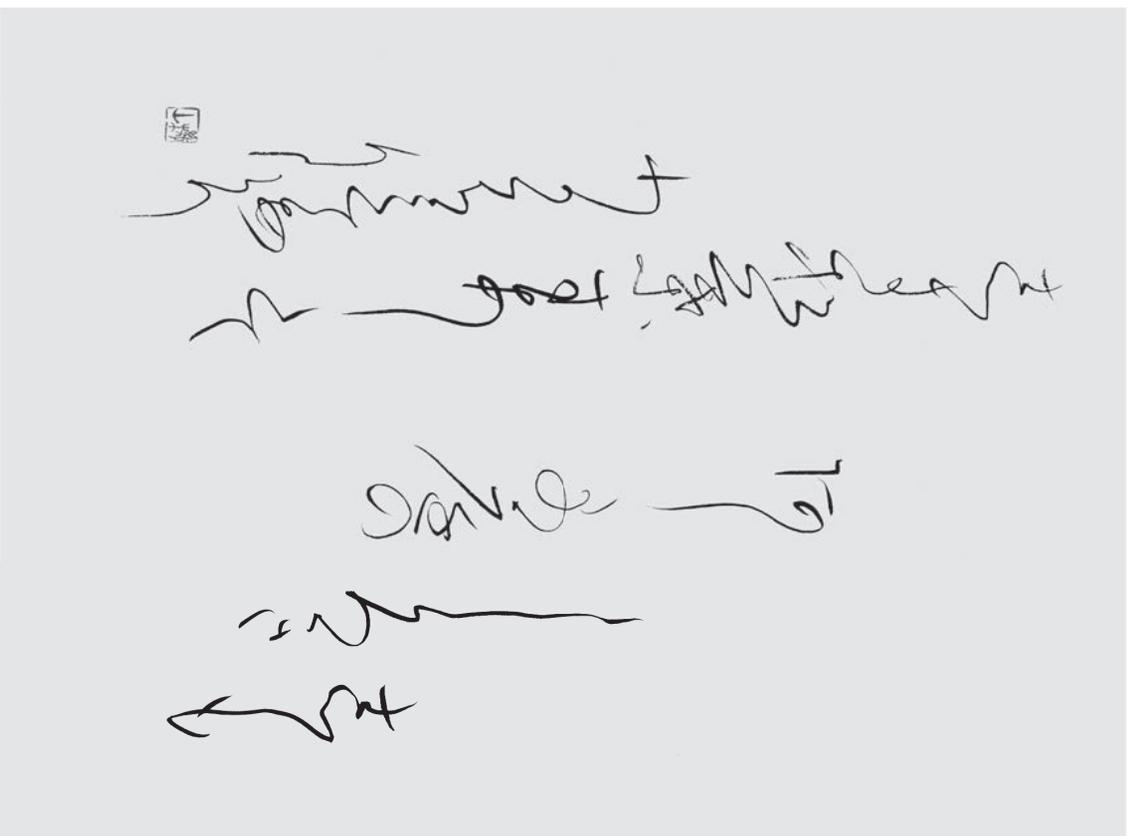
〔大意〕秋の気配は良い趣が多々ある。



庭充宛 葉街填

一般部毛筆かな課題

締切り 10月25日(必着)



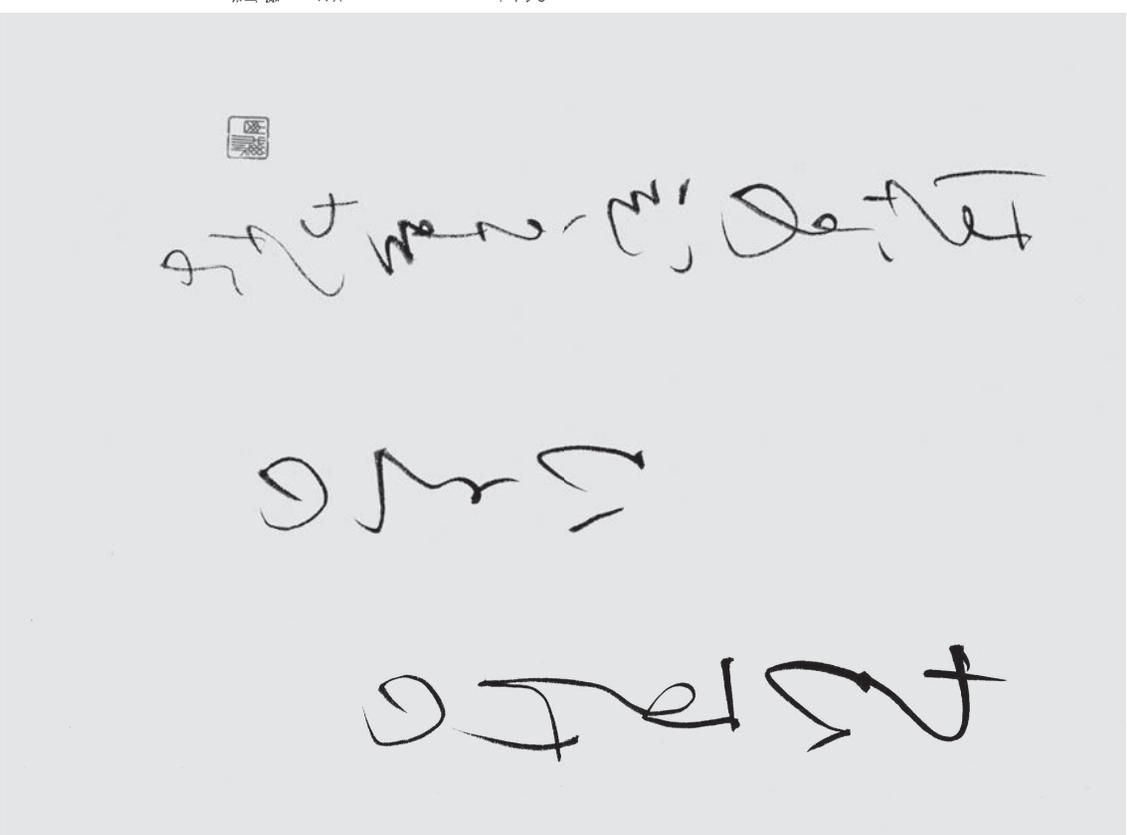
霜白きあしたの庭の敷松葉
霜 ちりほ 白き あしたの 庭の 敷松葉
 素足してわが踏みてありけり
素足 して わが 踏みて ありけり

【出典】尾上柴舟

【歌意】霜の真っ白な朝の庭に松葉が一面に散り敷いているのを、私は素足で踏んでいることだ。なんとつめたたく、すがすがしいことよ。

準初段から師範まで

■而課題とも文字の変換 ちらし方は自由です。



佐助のひとつの花の目数かな
佐助 の ひとつ の 花の 目数 かな

【出典】阿波野青畝

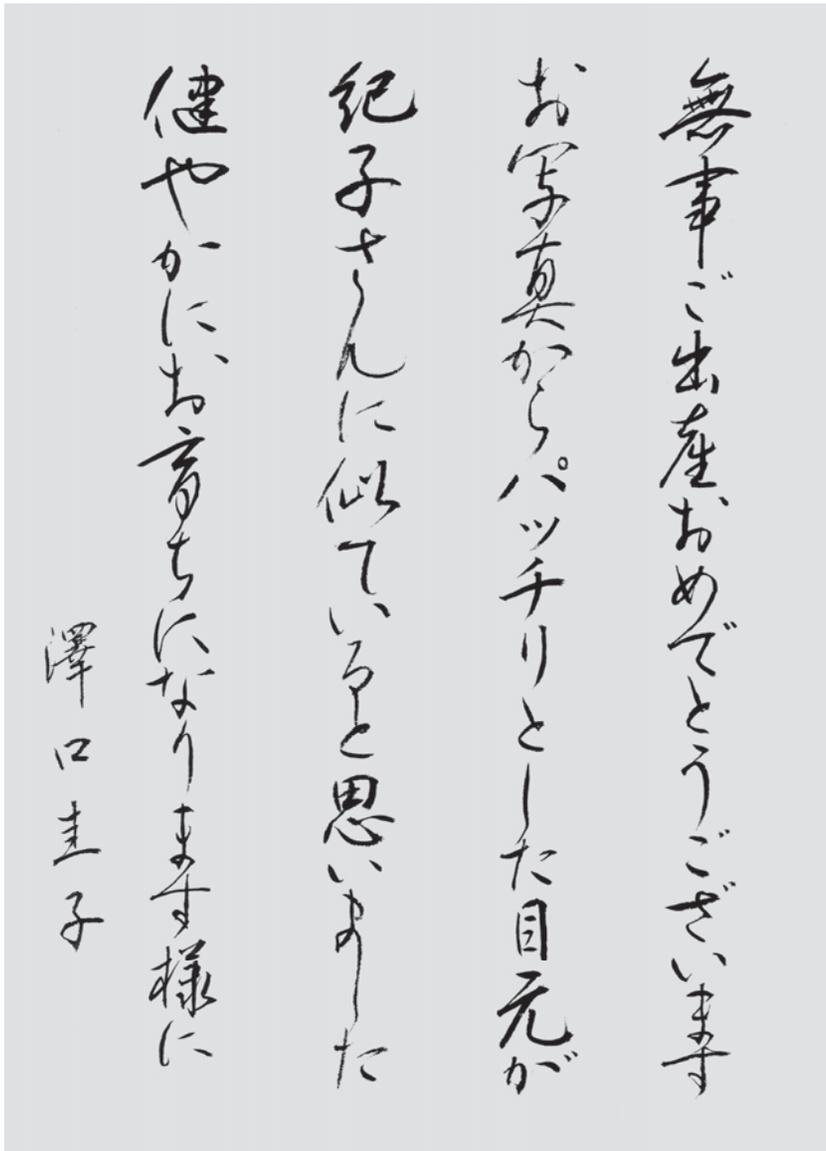
【句意】おだやかな日和がつづく。佐助の一輪の花をここ数日楽しんでいくというのである。作者の静かな心境が表われた句。

新入から1級まで

浅井機山先生書

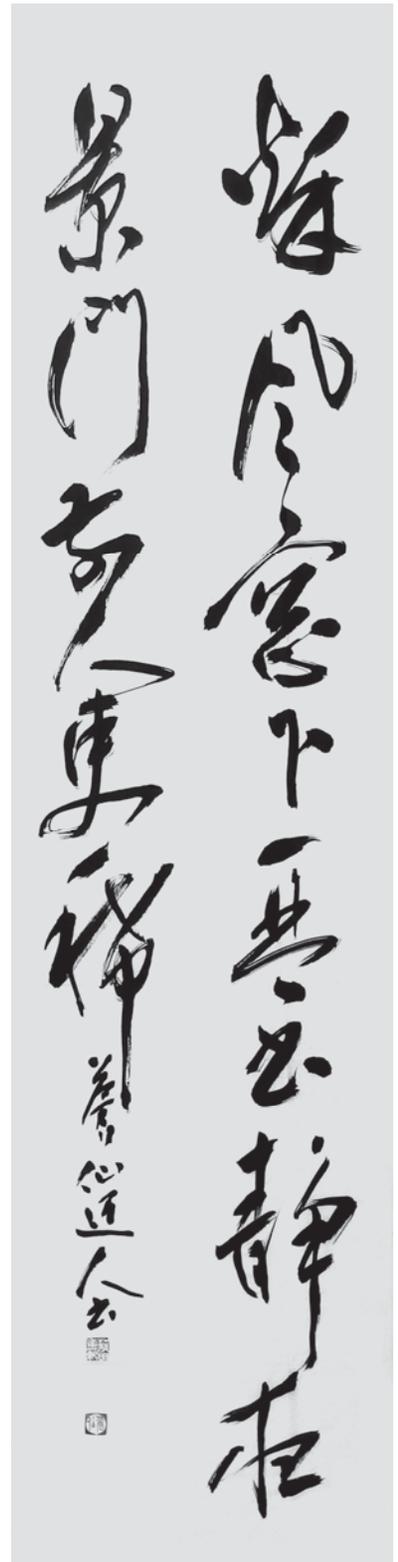
一般部毛筆細字課題

一般部毛筆条幅課題



半紙 (334 mm × 240 mm)

樋田玲華 書



締切り 十月二十五日 (必着) 半切 (一三六 cm × 三五 cm)

萩田蒼仙 書

- 新入から師範まで、どなたでも出書できます。
- 成績(天位〜5等)は、評価により毎月かわります。
- 書体変換、変体仮名の交換は自由です。

〔条幅・細字作品の出し方〕

・印で墨つぎしました。

(ご自分の氏名)

無事ご出産おめでとうございませ
お写真からパッチリとした目元が
紀子さんに似ていると思ひました
健やかにお育ちになります様に

〔条幅解説〕細い線(画)：何気なく書きますが、鋒先が紙にくい込まないと強さが得られません。そして起筆での鋒先のねじれを工夫して下さい。美しい強い味のある線を会得するため。

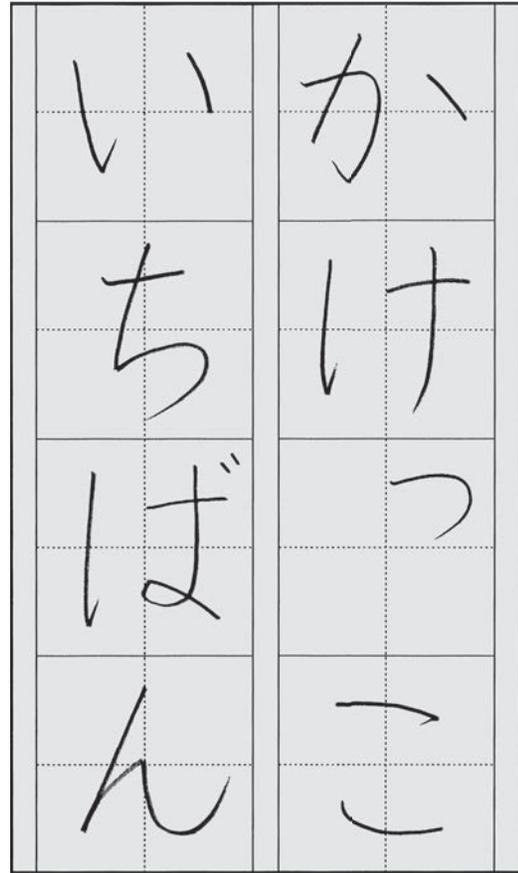
初出品の方へ

支部名・会員番号・
姓名・毛筆漢字成績
を、作品左下に必ず
お書き下さい。

秋風窓下琴書静
夜景門前人吏稀

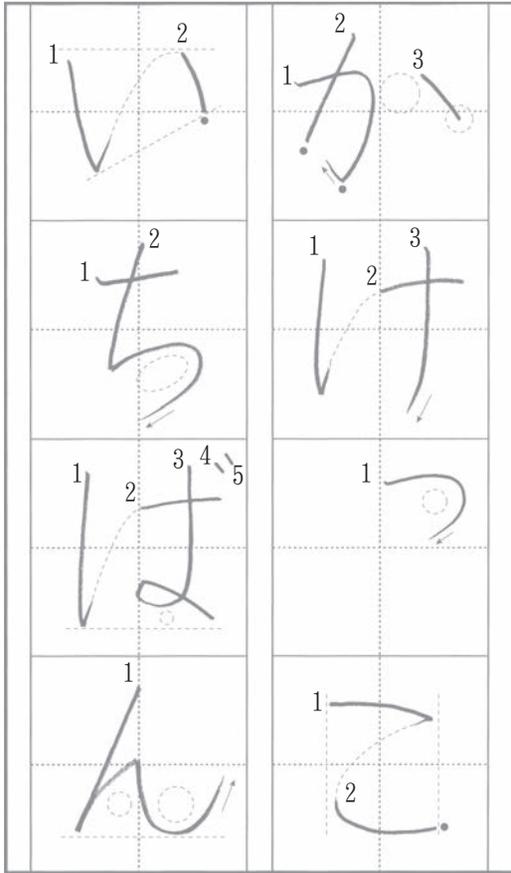
〔大意〕心地よい秋風の
下には琴書に相応しい
静けさ。日暮れとも
なると訪れる人もいな
い。

よ
う
年



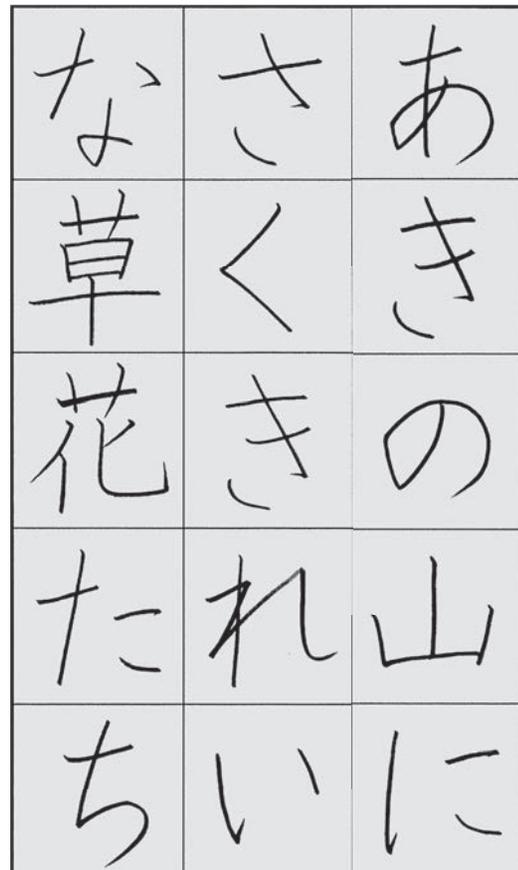
★新入は、年少・年中・年長の別を記入して下さい。
★幼年は、全員8マス用紙で出書して下さい。

◆ひらがなトレーニング(なぞってかいてみよう)



〈ようぐ〉自由(黒色にかきこ)

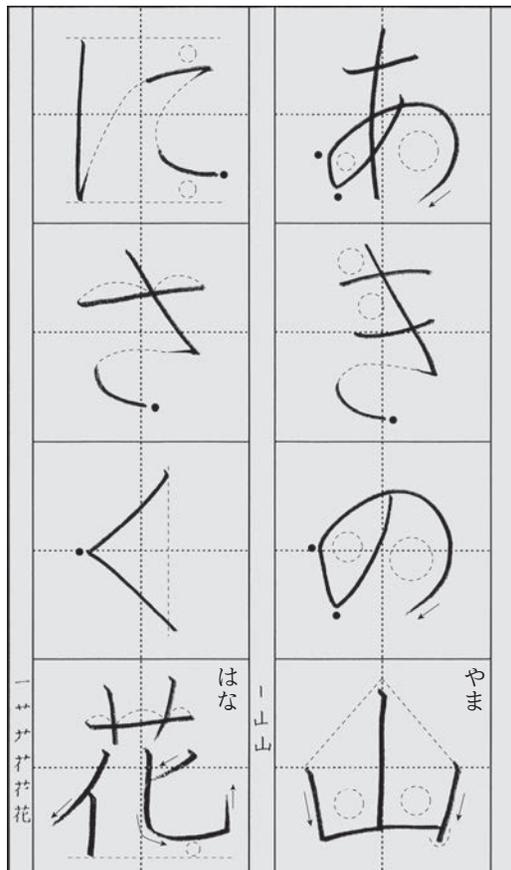
小
一
年



(注) えんぴつ書きでは、消しゴムを使ってはいけません。

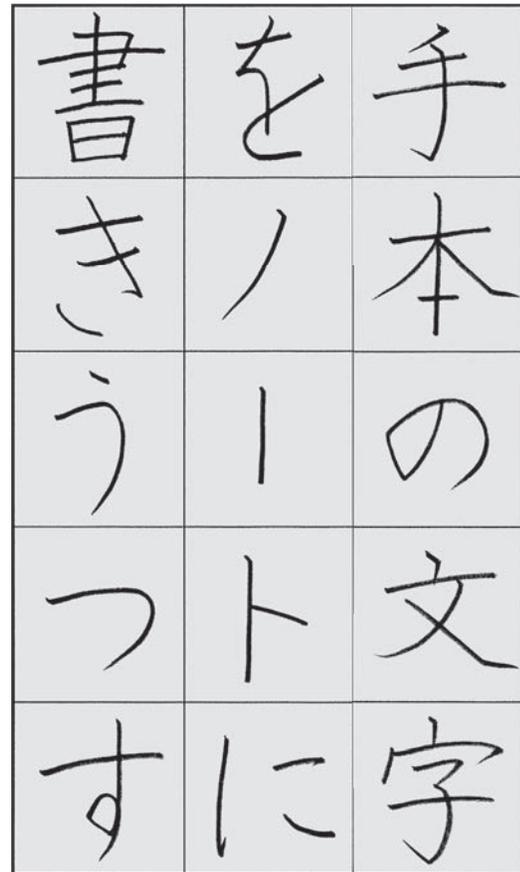
新入〜1級

準初段以上



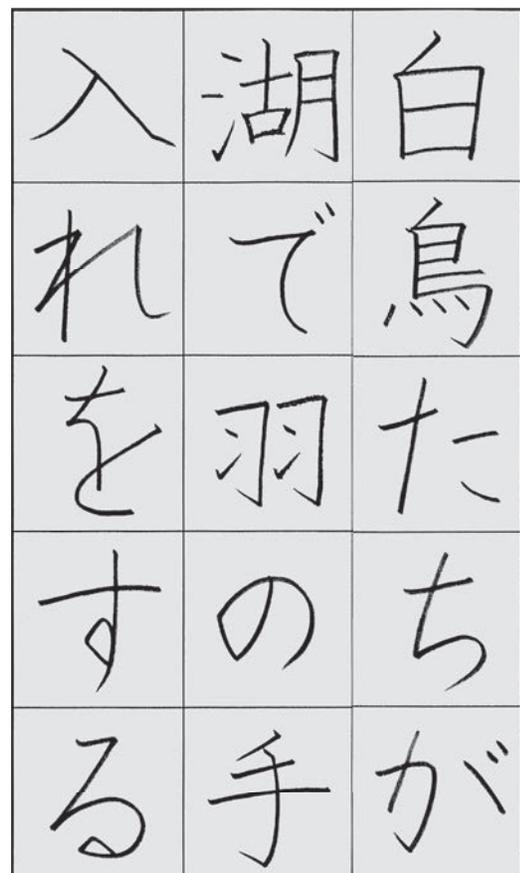
幼年〜小三年まで
三宅容玉書

小二年



準初段以上

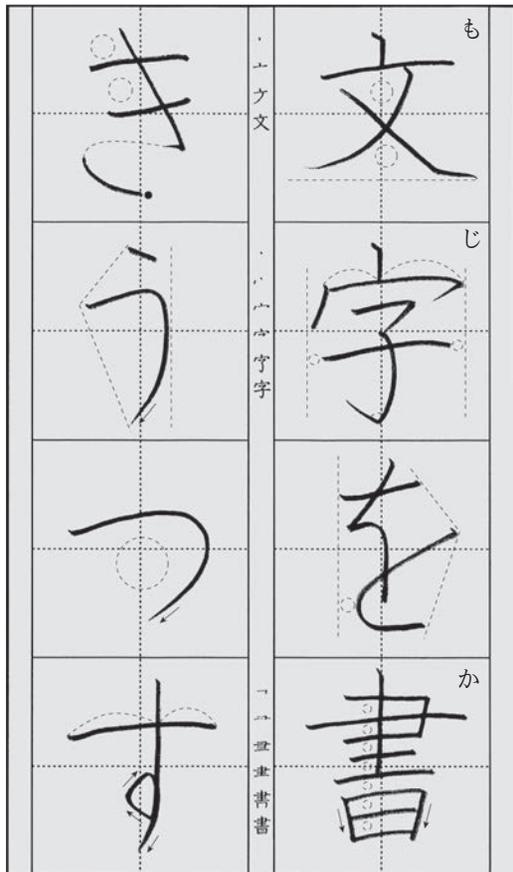
小三年



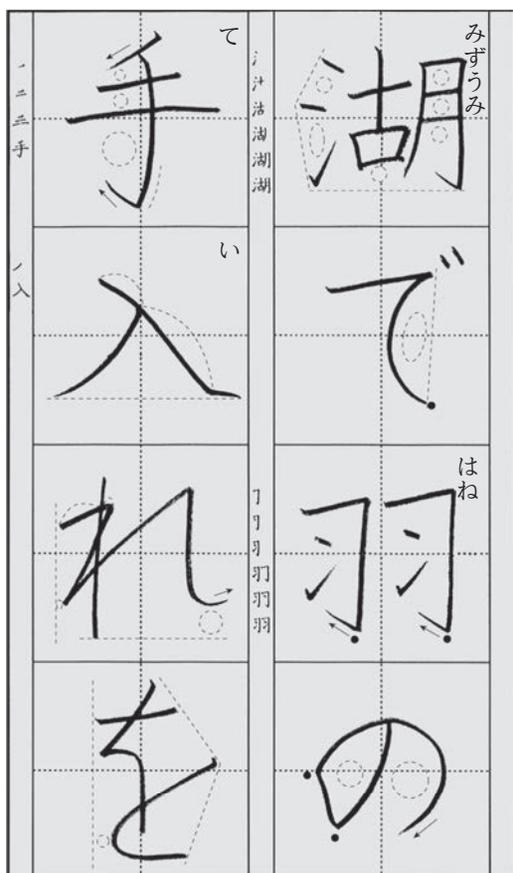
準初段以上

(注) えんぴつ書きでは、消しゴムを使ってはいけません。

〈ようぐ〉自由(黒色にかきぬ)



新入〜1級



新入〜1級

〈用具 自由(黒色に限る)〉

あ	南
る	の
果	島
物	に

みなみ
しま
くだもの

十内内尚南
イウ鳥島
イウザ物物

新入1級

※果物＝単語としてこのように読みます。

果	る	南
物	変	の
や	わ	島
草	つ	に
木	た	あ

小四年

準初段以上

小四年以上

岡嶋桂川書

氏	往
名	復
記	住
入	所

シ
オウ
メイ
フク
キ
ジュウ
ニユウ
ショ

イイ行行往
イイ和和復
イイ行住住
イイ所所所

解説(よく見て習いましょう)

小五以上は、全員15マス用紙で出書して下さい。

を	に	往
記	住	復
入	所	は
す	氏	が
る	名	き

小五年

(全員)

〈用具〉自由(黒色に限る)

羽	ウ ノハム今	今	コン
毛	モウ 一オオオ夜夜	夜	ヤ
布	フ 日キキ軟軟輕	輕	かる(い)
団	トン 日日暖暖	暖	あたた(かい)

解説(よく見て習いましょう)

布	暖	今
団	か	夜
で	い	は
ね	羽	輕
る	毛	く

小六年

(全員)

援	る	一
送	選	生
り	手	懸
ま	に	命
す	声	走

中二・三年

(行書)

の	売	瞬
推	し	く
理	た	間
小	話	に
説	題	完

中一年

(行書)

▼小三年以下の課題 お 小 ざわ さん 三 華 書

ハ	山	美	電	兄
イ	里	し	車	弟
キ	へ	い	に	で
ン			乗	
グ			っ	
			て	



◎お手本はえんぴつ使用



しめきり 10月25日(必着)

習っていない漢字は
ひらがなで書いてもよろしい。

▼小四年以上の課題 むら い じゅん こう 村 井 淳 光 書

黄	辺	秋	い	お
色	り	も	ち	寺
に	一	深	よ	の
染	面	ま	う	境
め	を	り	の	内
る			葉	の
			は	

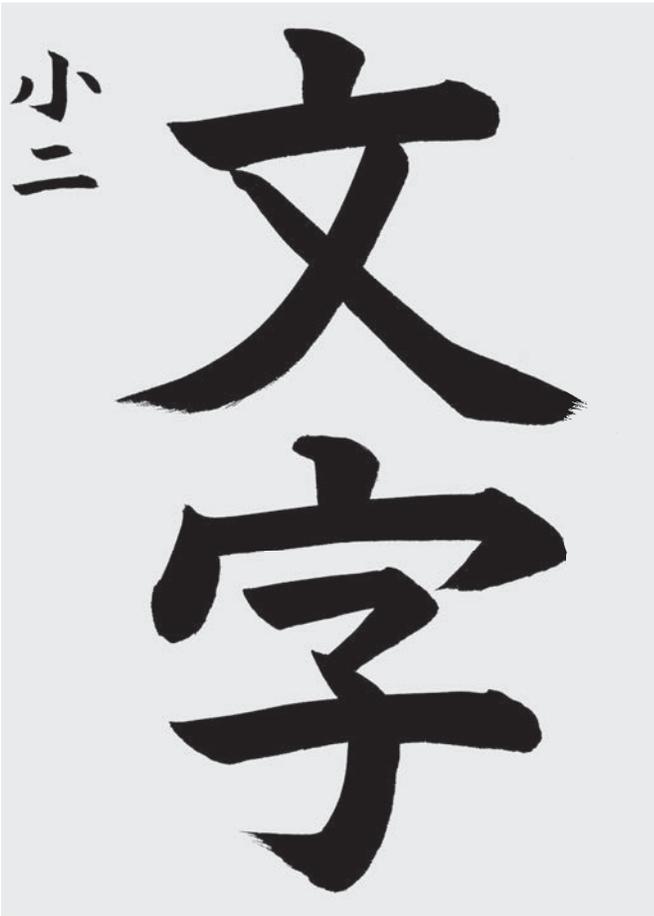


◎お手本はつけペン使用

◇作品の出し方

- 一、選定用紙（五行・四行）に書いて下さい。
- 一、作品には、支部名（校名）学年、氏名を書き入れて下さい。
- 一、筆記用具は自由です。（黒色に限る）
- 一、四行用紙を使用してもよろしい。その場合は、文章を適当に短くして下さい。
- 一、成績は評価により毎月変わります。
- 一、支部会員は、出品ラベルを必ず貼って下さい。貼っていない方は新入とみなします。





幼年しゅんねん／しゅんねん二年
玉樹たまき小華しょうか書



小五
氏住
名所

札手
入
小三

鳥 手
住 入
氏 南

鳥 南
の
小四

小三、小五年
水野香竹書



小六(中二・三年)
奥村暢之書

